

【決算審査意見書の抜粋】

加賀市欄の黒字・・・総務省「統一的な基準」ただし書に基づき算定した値
 加賀市欄の赤字・・・総務省「統一的な基準」本文の例文に基づき算定した値
 (他市は、総務省「統一的な基準」本文の例文に基づき算定した値と推測)

この一覧が、各市で公表されるよう加賀地区都市監査事務研究協議会を通して、お願いしたい。
 次に、徴収不能引当金についてである。

貸借対照表上、市の持つ債権のうち、不納欠損と見込まれる金額については、徴収不能引当金を
 計上することが求められている。これらの割合を、比較して見てみる。

一般会計等 引当率の比較

(単位:千円)

区 分 (年度)	長期延滞債権 (A)	徴収不能引当金 (B)	引当率 (B/A%)	未収金 (C)	徴収不能引当金 (D)	引当率 (D/C%)	
加賀市	H28	1,986,291	-1,055,257 -157,965	-53.1 -8.0	236,702	-118,622 -18,494	-50.1 -7.8
	H29	1,905,595	-1,006,764 -156,033	-52.8 -8.2	221,000	-105,115 -17,143	-47.6 -7.8
	増減	-80,696	48,493 1,932	0.3 -0.2	-15,702	13,507 1,351	2.5 0
小松市	H28	680,656	-265,934	-39.1	153,215	-51,625	-33.7
	H29	558,051	-83,524	-15.0	174,100	-9,125	-5.2
	増減	-122,605	182,410	24.1	20,885	42,500	28.5
白山市	H28	615,242	-43,347	-7.0	113,934	-83	-0.1
	H29	560,688	-41,573	-7.4	108,353	-70	-0.1
	増減	-54,554	1,774	-0.4	-5,581	13	0
野々市市	H28	128,317	-17,451	-13.6	90,139	-721	-0.8
	H29	138,589	-8,981	-6.5	71,089	-4,563	-6.4
	増減	10,272	8,470	7.1	-19,050	-3,842	-5.6
金沢市	H28	2,997,446	-282,154	-9.4	876,172	-17,980	-2.1
	H29	2,660,533	-263,243	-9.9	799,268	-10,498	-1.3
	増減	-336,913	18,911	-0.5	-76,904	7,482	0.8

全体会計 引当率の比較

(単位:千円)

区 分 (年度)	長期延滞債権 (A)	徴収不能引当金 (B)	引当率 (B/A%)	未収金 (C)	徴収不能引当金 (D)	引当率 (D/C%)	
加賀市	H28	3,160,099	-1,598,834 -257,204	-50.6 -8.1	527,783	-209,707 -58,004	-39.7 -11.0
	H29	3,005,164	-1,515,792 -241,431	-50.4 -8.0	500,149	-189,682 -39,201	-37.9 -7.8
	増減	-154,935	83,042 15,773	0.2 0.1	-27,634	20,025 18,803	1.8 -3.2
小松市	H28	1,379,857	-471,801	-34.2	2,558,807	-111,930	-4.4
	H29	1,201,295	-137,016	-11.4	2,862,706	-28,883	-1.0
	増減	-178,562	334,785	22.8	303,899	83,047	3.4

区 分 (年度)	長期延滞債権 (A)	徴収不能引当金 (B)	引当率 (B/A%)	未収金 (C)	徴収不能 引当金(D)	引当率 (D/C%)	
白 山 市	H28	1,170,108	-82,301	-7.0	712,913	-5,554	-0.8
	H29	1,044,593	-76,617	-7.3	773,167	-4,383	-0.6
	増減	-125,515	5,684	-0.3	60,254	1,171	0.2
野 々 市 市	H28	367,693	-45,979	-12.5	242,116	-29,715	-12.3
	H29	366,766	-29,039	-7.9	233,660	-40,155	-17.2
	増減	-927	16,940	4.6	-8,456	-10,440	-4.9
金 沢 市	H28	4,221,990	-852,400	-20.2	4,155,986	-187,784	-4.5
	H29	3,833,045	-790,308	-20.6	4,042,554	-165,540	-4.1
	増減	-388,945	62,092	-0.4	-113,432	22,244	0.4

他市と比較して一般会計等や全体会計においても、本市の引当率が顕著に大きい状態が続いている。H29年度においても-50パーセントを超えている。特に長期延滞債権の額そのものが大きいことから、この解消を図ることが必要である。

大方の市民は正しく納税を行っている。徴収業務は難しい仕事であることは重々承知しているが、今後も市として、事務処理する債権の実現に万全を期し、滞納が生じた場合の保全処分（強制執行・強制徴収・強制中断等）、時効等を明確に判断し、間違いのない適正な処理を行うことによって、自主財源の確保に向けた徴収力強化が求められる。不納欠損についても安易に行うのではなく、地方税法に基づき適切な滞納処分を行ってほしい。

特別会計・水道・下水道・病院事業を含めた全体会計でも、引当率が高いことから、それぞれの事業においても、適正な債権管理を行うよう強く要請する。

この資料は、平成30年度決算審査意見書83頁で掲載した平成29年度財務4表の徴収不能引当金の加賀市欄の数字について、加賀市では総務省「統一的な基準」のただし書きに基づき算定していたため、同基準の本文に基づき算定した値を併記したものです。

予算決算委員会では、どちらの算定方法にせよ、長期延滞債権が他市と比べて多いことが加賀市の課題であると改めて議論されました。